

教員残業 月95時間半 土日出勤増え押し上げ 2002年全教調査より10時間増！！

全教が実施した「勤務実態調査2012」に6722名の教職員が回答しました。回答を寄せた教職員の多くが、教育委員会をはじめ上からの押しつけられる仕事に悲鳴を上げ、子どもたちとの関わり時間や授業準備の時間の確保を求めている実態が明らかになりました。

長時間過密労働の実態
時間外勤務と
持ち帰り仕事

小中高校などの教員の残業時間は月平均95時間半で10年前の調査より約10時間増えていることがわかりました。学校での残業が約73時間、持ち帰り仕事が約22時間半でした。また、生徒指導や保護者対応で忙しくなつたほか、土日の仕事が増えて残業時間を押し上げています。これが平均値であることに、異常な働き方の実態が端的にあらわれています。時間外労働が80時間を超えると「過労死ライン」です。

睡眠時間

このような長時間過密労働は、人間らしい生活時間を奪い睡眠時間を圧迫しています。健康のために必要な睡眠時間は7時間30分とされています。厚生省は「長期にわたる1日4時間～6時間以下の睡眠不足状態では、睡眠不足が脳・心臓疾患の有病率や死亡率を高める」と報告しています。教員の睡眠時間の平均は6時間19分です（6時間未満が約3割）。このような生活を重ね高年齢になって突然の脳卒中や心臓病になり自立した生活が困難になるケースも増えています。

勤務実態調査から

見えてきた課題

子どもたちとふれあい、その成長に仕事のやりがいを感じている教職員を支えるために以下のことが必要だと考えます。

- 報告書、調査、指定研究など軽減し、業務の精選を行うこと。

- 人事考課制度などによる管理と統制ではなく、教職員が支え合う学校づくりをすすめること。

- 少人数学級推進と持ち帰り削減をおこなうこと。

小学校の学級規模と 残業時間

学級規模別の平均残業時間では、35人超学級で74時間55分、25人以下学級では62時間50分と大きく減る傾向にあります。小学校の集計結果が、学級規模と時間外勤務時間の相関を示しています。少人数学級を実現していくことで長時間過密労働が改善されます。



このような取り組みを北多摩東支部でも積極的にすすめていきます。

- すべての学校に労働安全衛生委員会を確立すること。

北多摩東支部恒例

一四年 新春のつどい

抱腹絶倒・見ないと損・またやりますよ



日時 二〇一四年 一月二十日(金)

一八時開場 一八時半開演

場所 武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口一分)

内容 ★松元 ヒロさん 抱腹のライブ

★有志パフォーマンス

★抱腹のみ抽選会



政治風刺がお家芸の社会派エンターテイナー松元ヒロさんは、お笑いの中にも日本国憲法の大切さを、聞く人に語りかけてくれます。不況・格差・低賃金の中で、ともすれば頭をかかえつつむいてしまうことが多い今日この頃、たまには大口を開けて世の中を笑い飛ばしましょう！抱腹絶倒間違いなし！

～パフォーマンス参加者募集中～
音楽・芸能・隠し芸で 舞台上がって
新春のつどいを一緒に盛り上げませんか！！

- 個人・グループでの参加大歓迎！
- 楽器演奏 合唱 ダンス 手品 お笑い 落語等いろいろなパフォーマンスをご披露ください。

お問い合わせ:042-384-2941(都教組北多摩東支部)